
アフターコロナ時代のデジタル&イノベーション研究会

～アフターコロナ時代に、何が変わり、何が生まれ、何を創り出していくべきか～

2021年4月16日

研究会の概要

研究テーマ:アフターコロナ時代に、何が変わり、何が生まれ、何を創り出していくべきか～
部会長 水谷 世希 (株式会社日立コンサルティング)

(1) 研究会概要・方針

現在、新型コロナウイルスの猛威により、社会活動や経済は大きな影響を受けています。
いわゆるアフターコロナ時代は、ビフォーコロナとは人々の暮らし方や価値観が大きく変わっていくでしょう。
本研究会では、このような状況下において、何がどのように変化していくのかを検討し、
これらの変化を踏まえてこの環境をあえてポジティブチャンスと捉え、イノベーションによりどのような
新事業創造が起こせるかを考えていきます。
本研究会はZoomを利用したオンラインによる、メンバーとのディスカッションを通じて研究します。

(2) 開催予定日(全6回、合宿はありません。すべてZOOMでのオンライン開催です。15:00～17:00)

①7/3(金) ②9/4(金) ③10/15(木) ④12/9(水) ⑤1/21(木) ⑥3/4(木)

(3) 対象者(募集人数:30名)

本研究会はメンバーと共にディスカッションを行います。
何かを掴み取るために自分の悩みを皆さんと共有し、参画して下さる方にぜひ参加して頂ければと思います。

- ・ 研究会のメンバーと本音をぶつけ合い何かのヒントを見つけたい方。
- ・ デジタルトランスフォーメーションに向けて新たなビジョンをどうすれば描けるかを検討したい方。
- ・ イノベーションを起こすために他社や他業界との協創を起こしていきたいと思っている方。
- ・ 事前課題に積極的に取り組んでいただける方。

研究会の目的

1

アフターコロナ時代の社会はビフォーコロナ時代と何がどのように違うのかを検討し、変化のポイントを整理する。

2

それらの変化を踏まえて、この環境をあえてポジティブチャンスと捉え、デジタルを活用したイノベーションにより、どのような新事業創造や業務改革が起こせるかを考える。

3

メンバーとのディスカッションを通じて、オンラインでのディスカッションのファシリテーションのやり方やツールの使い方を習得し、自社でのオンラインディスカッションのリードができるようになる。

研究会の流れ

15:00	1 オリエンテーション	本日研究会の目的や、検討の方法をご説明いたします。
15:30	2 プレゼンテーション	グループディスカッションの題材となるプレゼンテーションをゲストスピーカー、もしくはメンバーから行っていただきます。
16:00	3 グループディスカッション	6グループに分かれてディスカッションします。 ファシリテーターのリードに従って下さい。
16:30	4 グループディスカッション結果発表	各グループのディスカッション結果を発表して下さい。 1チーム3~5分程度で検討内容を説明してください。 発表はファシリテーターをお願いします。
17:00	5 クロージング	本日のディスカッションの内容を振り返ります。

検討のフレーム（サンプル）

・それぞれの当事者を主語にしてコロナウイルスの影響がどのように現れているか思いつくことを書いてみてください。

当事者	変化したこと	困っていること	望んでいること	研究会で検討したいこと
生活者	お年寄りには感染を予防するために、できるだけ外出しないようにしている。	毎日の買い物に近くのお店に行けないので、生鮮品が買えない。	毎日新鮮な野菜や肉、魚などを手に入れたい。	アフターコロナによって地域物流のあり方はどのように変わるだろうか？
自社のお客様 企業・取引先	宅配の利用者が増えすぎて、配送が追い付かなくなっている。	地域の物流が今の仕組みでは対応しきれない。アルバイトも人が集まらない。	地域物流の全く新しい仕組みを創り出したい。自動配送なども取り入れたい。	アフターコロナの時代にふさわしい地域配送システムのあり方とは？
経営者	生活者の暮らしが変わることで社会システムを抜本的に見直す必要がある。	アフターコロナの時代に、自社のサービスやビジネスモデルをどのように変えるべきかわからない。	アフターコロナの時代の変化を整理して、自社のこれからの姿を描きたい。	アフターコロナ時代の社会変化を踏まえて、新たに求められるサービスは何か？
業務部門	クライアントの業績が厳しくなり依頼されていたロボット開発プロジェクトにストップが入った。	これまでの開発テーマとは異なる、アフターコロナ時代に適した新たな開発テーマが必要。	アフターコロナの時代に求められる新たなサービスを踏まえて、新たな商品企画を描きたい。	アフターコロナ時代に新たに求められるロボットの活用方法は何か？
自分の部署
IT・情報システム

検討内容の整理シート

・コロナウイルスの影響で起きる変化を踏まえて、どのようなサービスやデジタル活用生まれるかアイデアを書いて下さい。

	Before コロナ	After コロナ
利用者の状況	<p>困っていること</p>	<p>望んでいること</p>
サービスアイデア		
デジタル活用		

最終回に向けて：名前（企業名）

アフターコロナをきっかけとした自社の状況やお客様の変化と課題を踏まえて、デジタルトランスフォーメーションを起こすために何をすべきと考えるか、自分や自部門の役割を整理してみてください。

1 自社のDXの取り組み状況と課題

- XXX
- XXX
- XXX

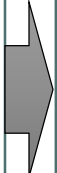
2 コロナ禍での自社やお客様の変化と課題

- XXX
- XXX
- XXX

3 DXに向けた自分(自部門)の役割

研究会ではこの内容をグループディスカッションでプレゼンテーションしてもらいますので準備をお願い致します。

これまで



これから



全六回の概要とポイント

	ゲスト	テーマ	アフターコロナのポイント
1	【ディスカッション】 ・自己紹介 ・問題意識の共有	参加者が感じているアフターコロナ時代の社会の変化やこの研究会で検討したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークや在宅勤務に伴う変化 ・価値観やライフスタイルの変化 ・変化に伴う企業のあり方
2	ジョージ・アンド・ショーン 井上 憲 CEO	見守りタグとAIで創る優しい社会 ～社会課題に技術で立ち向かう	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業(オラクル)に勤めながら副業を行う ・主体性を持って新たな事業に挑む
3	アビームコンサルティング 安部慶喜 執行役員	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ日本のDXは上手くいかないのか ・COVID-19による環境の変化 ・DXの真髄 	<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル非対面でのコミュニケーションと、事業や業務のデジタル化が加速する ・Withコロナにおける意識改革が起爆剤
4	【ディスカッション】 自民党 デジタル社会推進特別委員会 ・デジタルニッポン	「Society5.0の進化」としての 「デジタル田園都市国家」	<ul style="list-style-type: none"> ・パンデミックで新たな経済資産や経済モデルの創出が期待される ・社会全体のDX化を推進する
5	Degas株式会社 牧浦 土雅CEO	先進国の当たり前をアフリカに	<ul style="list-style-type: none"> ・使命感が9割 ・現状を知り、理想を描き、目に見える形でアクションを起こす
6	【ディスカッション】 経済産業省 ・DXレポート2	“DXの現状認識と、コロナ禍によって表出したDXの本質”を考える”	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営・戦略の変革の方向性はどのように変わるのか ・これからのIT部門の役割は何か

デジタルトランスフォーメーション

D X レポート 2

中間取りまとめ

(概要)

令和2年12月28日
デジタルトランスフォーメーションの加速に向けた研究会

DXレポート2 : デジタルトランスフォーメーションの加速に向けた研究会

1. 検討の背景と議論のスコープ

2. DXの現状認識とコロナ禍によって表出したDXの本質

2.1 DX推進指標の分析結果

2.2 企業のDXに対する危機感の現状

2.3 コロナ禍で起きたこととDXの本質

2.4 企業の目指すべき方向性

2.5 ベンダー企業の目指すべき方向性

3. 企業の経営・戦略の変革の方向性

4. 政府の政策の方向性

5. 今後の検討の方向性

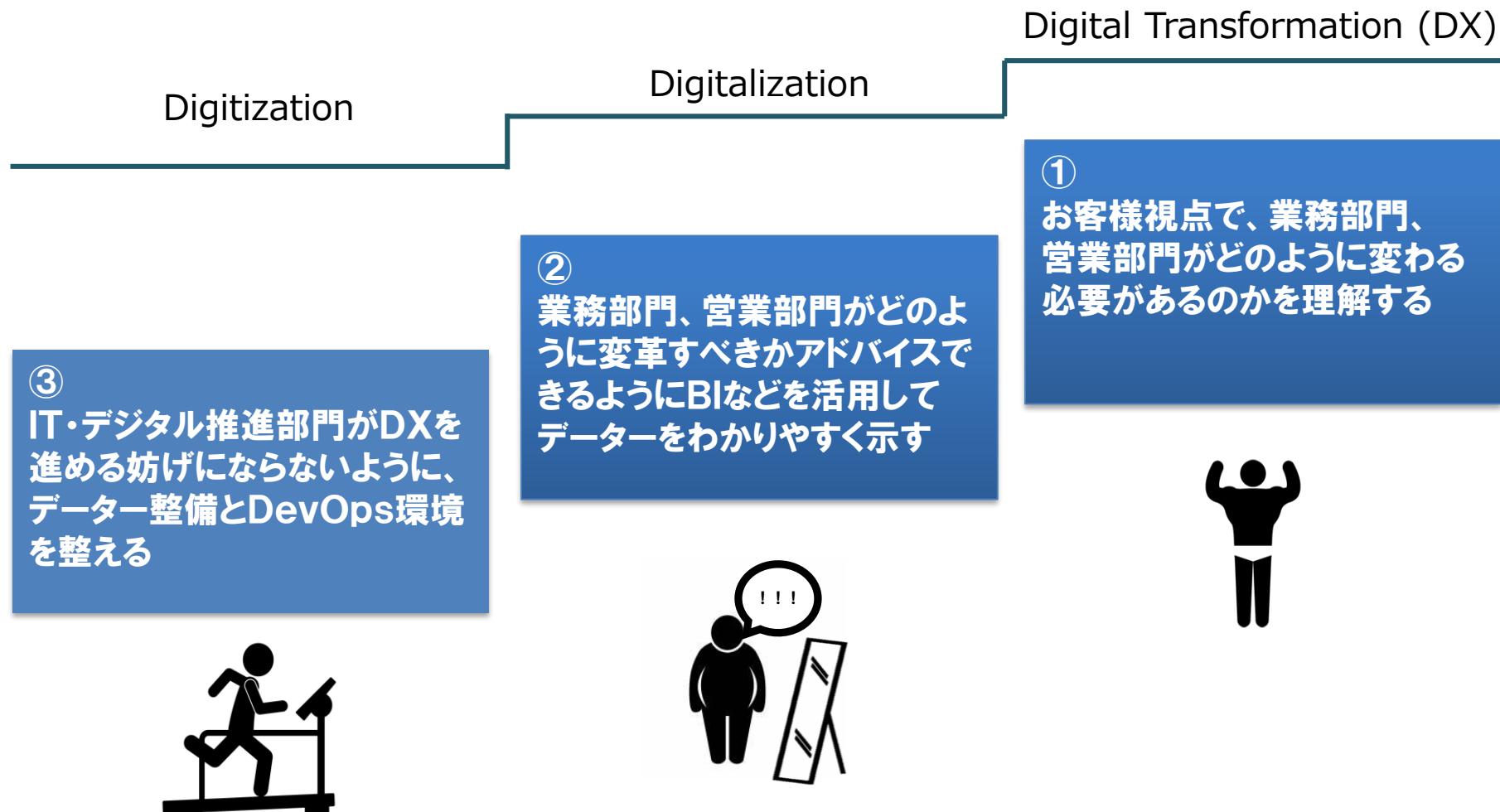
**変化に迅速に適応し続けること、
その中ではITシステムのみならず企業文化
(固定観念)を変革することがDXの本質であり、
企業の目指すべき方向性**

**コロナ禍によって人々の固定観念が変化した
今こそ企業文化を変革する機会。
ビジネスにおける価値創出の中心は
急速にデジタルに移行しており、
今すぐ企業文化を変革し
ビジネスを変革できない企業は、
デジタル競争の敗者に**

「経済産業省 DXレポート2」

IT・デジタル推進部門がやるべきこと

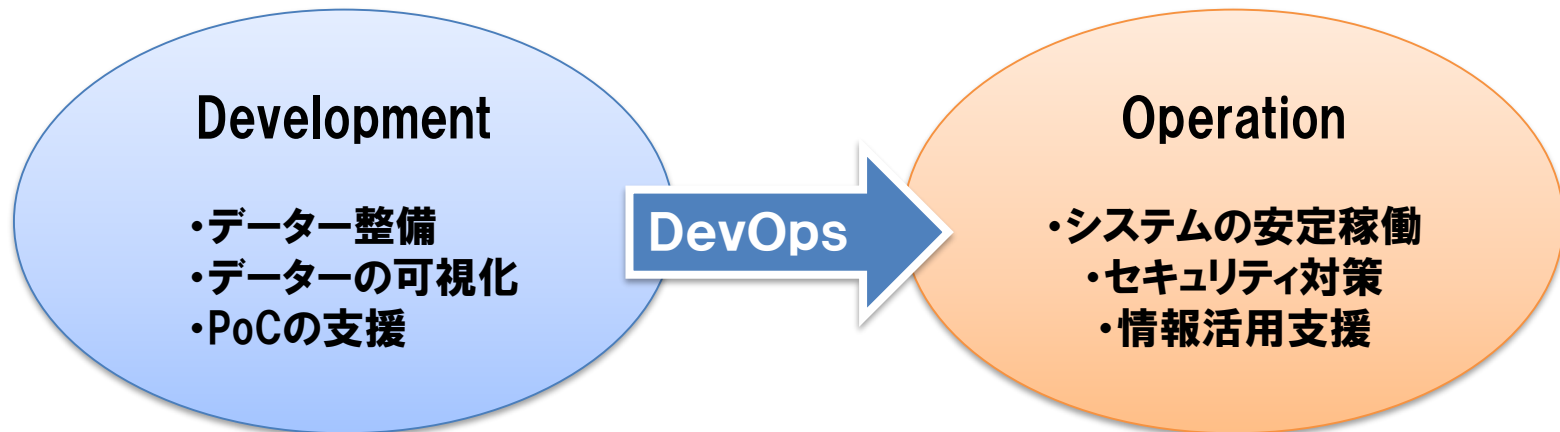
「IT推進部門」は「DXのパーソナルトレーナー」を目指す



DXに向けて：IT・デジタル推進部門が目指す姿

IT・デジタル推進部門に求められること

『ビジネスモデルの次世代化』の実現支援



「IT推進部門」は「DXのパーソナルトレーナー」

大きく変わるためには、小さく始めて“スパイラルアップ”することが有効。

